## KeTMath フリック入力 使い方

2022.3.24

 $\boxed{ \textbf{C} \text{ or } \textbf{T} } : \textbf{Click} \ ( \ \ \, \forall \ \, ) \leftarrow \rightarrow \textbf{Touch} \ ( \ \, \ \, \ \, \ \, )$  これを合わせないとフリック入力ができない

フリック入力:各キーを押したまま上下左右に動かして 入力するものをグレーにして離す.

KEY : (今のところ) 小文字 → 大文字 → ギリシャ文字 → 数字

## 入力ワク

KeTMath 形式で入力されたものが T1 に表示される.

下方のキーで 口 の位置に入力できる.

|<< |: □を一番前に

< :□を一つ前に

> :□を一つ後に

|>> |: □を一番後に

BS :一つ前を消去

| AC : 全部消去

ワク選択時には □ は消え、スマホ等のキーボードで普通に入力できる.

// で改行された場合, 次の行は T2 に表示される.

3行目以降は同じ行間隔で表示される.

Copy: クリップボードにコピーされる.メールなどに貼り付けできる.

| File |: ファイルに保存できる. (ブラウザによる?)

## 貼り付けワク

Paste : クリップボードにコピーされているものを貼り付ける.

(ブラウザによる. 許可が必要なこともある)

KeTMath 形式で入力されたものが T3 に表示される.

// で改行された場合,次の行は T4 に表示される.

3 行目以降は同じ行間隔で表示される.

AC :全部消去

←→ : 入力ワクの中身と貼り付けワクの中身が入れ替わる.

表示 : 点の名前表示 → 点だけ表示 → 点表示なし ↑

 スプライン
 : S11, S12, S13, S14 が作られ,

 大島スプライン曲線が描かれる.
 以降, S21~S24, S31~S34, …

対象: :操作対象番号を変更

減らす で点が減る, 増やす で点が増える.

開か閉 で閉曲線にするかが切り替えられる.

|作点|:P1とQ1が作られる.以降,P2とQ2,P3とQ3,…

対象: :操作対象番号を変更

0 : 入力ワクに入力されたものが T1, T2 に表示される.

1 : 入力ワクに入力されたものが Q1 に表示される.

- と + で P1 の周りの円の大きさを変更.

円の大きさが 0 になると、P1 が消える.

入力ワク内が x の式 か y=x の式 の場合,

更に - を押すと, グラフが表示される.

xの式 はシンデレラの関数として認識されるもの

 $\sin(x)$ ,  $\cos(x)$ ,  $\tan(x)$ ,  $\arcsin(x)$ ,  $\arccos(x)$ ,  $\arctan(x)$ ,

 $\exp(x)$ ,  $\log(x)$ ,  $\operatorname{sqrt}(x)$ ,  $\operatorname{abs}(x)$ ,  $\cdots$ 

+ - \* / ^ ( ) が使える

if(x<0,x^2,sin(x)) なども可

2 : P2 と Q2 について同様

.

無し と 軸表示 のときは 対象: の右の表示が 操作対象番号

単位長: - と + で 縮小と拡大

グラフ: - と + でグラフの大きさ変更. 点 AX を動かして移動

データ: 点の位置などのデータを入力ワクに書き出す.

Copy してメールなどに貼り付けできる.

再現: データを貼り付けワクに貼り付けて

再現 を押すと再現できる.

再スタート:全て初期化して再スタート

(1回で消えない時はもう1回押す)

## おまけ

CSE: Paste area ワクが CindyScript エディターになる.

例: connect([T1,T2,T4,T3,T1]); (シンデレラのコマンド)

例: Listplot([T1,T2,T4,T3,T1]); (KETCindy のコマンド)

例:T1 の座標を見たいとき (println(T1); と書きたいとき)

JSprintln(T1); realtime=0; 結果を入力ワクに書き出す

realtime=1; のときに CindyScript エディターになるが,

書き続けてしまうので、realtime=0; とする.

realtime=0; としているときは、 CSE が実行ボタンのような感じ